

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 22.5.14 第 174 回国会第 5 号

5 月 14 日（金）第 5 回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件

- ・岡田外務大臣、北澤防衛大臣、松野内閣官房副長官、武正外務副大臣、榛葉防衛副大臣、高橋経済産業大臣政務官、楠田防衛大臣政務官及び長島防衛大臣政務官に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

中 谷 元君（自民）

- ・上海万博の日本館には常時国旗が掲げられていないが、各国が自国を紹介し、アピールする国際万国博覧会において、国旗は掲揚されるべきと考えるが、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・東シナ海における中国海軍艦載ヘリの我が国護衛艦への異常接近事案等を踏まえ、日中間で不測の事態が起こらないような軍事演習等についての事前通報等に関するルールを構築する必要があるのではないのか、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・普天間飛行場移設問題に関し、鳩山総理大臣は沖縄訪問時に「海兵隊の存在が抑止力として沖縄になければならない理由はないと思っていた」と述べているが、岡田外務大臣及び北澤防衛大臣も同様の認識であったのか伺いたい。また、本問題は、これまでどおり 5 月末までに決着させるつもりなのか、岡田外務大臣に伺いたい。

新 藤 義 孝君（自民）

- ・鳩山総理大臣は沖縄訪問時に「海兵隊の存在が抑止力として沖縄になければならない理由はないと思っていた」と述べたが、海兵隊の抑止力について理解していた岡田外務大臣が、もっと早くから鳩山総理大臣に、海兵隊の抑止力について説明をしていれば、事態は早期に収拾できたのではないのか、岡田外務大臣の認識を伺いたい。
- ・普天間飛行場移設問題の解決のためには、地元が求めているような若干の修正をすることも現行案を実施することが早道と考えるが、鳩山内閣が現行案を採用しない理由は何なのか、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・韓国が竹島及びその周辺で行おうとしているヘリコプター離着陸場の改修、海洋科学基地の建設及び漁業関係者の宿泊施設の改築などについて、5 月 15 及び 16 日に予定されている日中韓外相会議の機会に行われる日韓外相会談でとり上げる必要があるのではないのか、岡田外務大臣に伺いたい。

岩 屋 毅君（自民）

- ・普天間飛行場移設問題に対する連立与党内の状況は、方向性が一致していると言える状況にないが、岡田外務大臣及び北澤防衛大臣は、本件に関して、社会民主党や国民新党と協議したことはあるのか。
- ・徳之島に沖縄の負担を分担してもらうために、鳩山総理大臣がかつて徳之島を選挙区とする衆議院議員であったとはいえ現在引退した一私人を訪問したり、平野官房長官が一部の町議とあたりすることは、正攻法と言えないのではないのか、岡田外務大臣の認識を伺いたい。また、このような行動は、鳩山総理大臣が県外移設に言及したことに対する辻褄合わせととられかねないことから、徳之島への一部移設や訓練移転は断念すべきと考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・鳩山総理大臣の持論である「常時駐留なき安保」について、総理大臣はこれを封印するとしたが、「常時駐留なき安保」は周辺の安全保障環境の好転や米軍の減少の後を埋める我が国自主防衛力を強化する国民の覚悟と決意ができた後の長期的目標であると述べるべきであったと考えるが、岡田外務大臣の見解を伺いたい。

佐 藤 茂 樹君（公明）

- ・鳩山総理大臣は普天間飛行場移設問題の 5 月末決着を断念したと報じられているが、岡田外務大臣及び北澤防衛大臣は 5 月末決着について、どのような認識を持っているのか。
- ・鳩山総理大臣は、抑止力の観点から普天間飛行場の機能のすべてを県外に移転するのは困難である旨の発言を行っていることを踏まえ、海兵隊は、何に対する抑止力を有し、何故沖縄に駐留しなければならないかについて、国民に説明する必要があると考えるが、岡田外務大臣及び北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・中国海軍艦載ヘリの我が国護衛艦への近接飛行事案（4 月）や中国の海洋調査船による海上保安庁の測量船の追跡事案（5 月 3 日）について、5 月 15 及び 16 日に予定

されている日中韓外相会議の機会に行われる日中外相会談でとり上げる必要があるのではないのか、岡田外務大臣に伺いたい。

小 泉 進次郎君（自民）

- ・普天間飛行場移設問題について、鳩山総理大臣は5月末までに決着するとしてきたが、この5月末決着は誰が決めたのか、岡田外務大臣に伺いたい。
- ・普天間飛行場移設問題の5月末決着の「決着」とは、地元及び米側の理解を得ることまででよいのか、この両者との合意を含むのか、岡田外務大臣の認識を伺いたい。
- ・瀧野官房副長官が普天間飛行場移設問題を協議するための平野官房長官との会談を徳之島3町長に申し込んだことを鳩山総理大臣が把握していなかったが、関係閣僚間における情報共有の現状について、岡田外務大臣はどのように認識しているのか。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・在日米軍がアフガニスタンに対する武力行使やイラク戦争に派遣され、その後もアフガニスタンやイラクにおける作戦に恒常的に参加している事実を外務省は把握しているのか。
- ・在沖米海兵隊の装甲車が訓練中に学校や畑などに無断で侵入するなどの事案を引き起こしているのは、単なる運転訓練ではなく、アフガニスタンやイラクにおける様々な状況に対処するための訓練中のものと認識している。訓練の内容を調査した上で妥当性を検討し、結果を国会に報告する必要性について、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・普天間飛行場移設問題について、岡田外務大臣の「受け入れるところがないから県内に」という発言は不当なものではないのか。また、沖縄県民の願いは、沖縄県3役及び部局長でつくる県振興推進委員会が策定した「沖縄21世紀ビジョン」で示された「基地のない沖縄」であり、外務大臣の職務は、抑止力を名目に基地を沖縄に押しつ

けるのではなく、沖縄県民の思いを受け止めた外交することではないのか。岡田外務大臣の見解を伺いたい。

中 野 謙君（民主）

- ・自衛隊の海外派遣等に関する国会の関与やシビリアンコントロールの在り方について、民主党の考え方が、野党時代と現在とでどうして変化したのかを国民に納得できるよう説明する努力が必要と考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・自衛隊の海外派遣等に関する国会の関与やシビリアンコントロールの在り方について、過去の経緯を含め、改めて検討することが必要と考えるが、岡田外務大臣及び防衛省の見解を伺いたい。
- ・国交のない北朝鮮からのミサイル等の飛翔体をPAC-3が破壊し、その破片等が我が国国民の生命・財産に被害を及ぼした場合、北朝鮮に対する賠償交渉はどの官庁の所管になるのか。北朝鮮が応じない場合、補償等につき防衛省としてはどのような対応がとれるのか。

照 屋 寛 徳君（社民）

- ・5月13日付沖縄地元2紙が、嘉手納飛行場に一時的に飛来している岩国飛行場所属のFA-18が、沖縄近海の射撃場でクラスター爆弾の投下訓練をした可能性が高いと報じているが、外務省及び防衛省の認識を伺いたい。
- ・普天間飛行場移設問題に関し、北澤防衛大臣は、5月12日からワシントンで行われた日米実務者協議において、米側に提示した案を仲井眞沖縄県知事に事前に説明した事実はあるのか。
- ・北澤防衛大臣は、普天間飛行場移設問題に関し、場所及び工法は問わず、沖縄県内への移設について、仲井眞沖縄県知事が理解を示しているとの認識を持っているのか。